

## 第11回気候変動適応中部広域協議会 議事メモ

日 時：令和6年3月1日（金）13:00～15:00

場 所：Webex 会議室

参加者：末尾に記載

### 開催内容

1. 開会挨拶
2. 情報提供
  - (1) 環境省気候変動適応室からの情報提供
  - (2) 国立研究開発法人国立環境研究所からの情報提供
  - (3) 環境省環境安全課からの情報提供
  - (4) 大塚製薬株式会社からの情報提供
  - (5) 質疑・意見交換
3. 分科会等からの報告
  - (1) 自然生態系への影響分科会
  - (2) 流域圏での水資源管理分科会
  - (3) 普及啓発事業
  - (4) 気候変動適応に関する取組状況調査結果について
  - (5) 質疑・意見交換
  - (6) 全体質疑

資 料：資料1 環境省気候変動適応室からの情報提供資料

資料2 国立研究開発法人国立環境研究所からの情報提供

資料3 環境省環境安全課からの情報提供資料

資料4 大塚製薬株式会社からの情報提供

資料5 分科会等からの報告

参考資料1 第11回気候変動適応中部広域協議会参加者名簿

参考資料2 気候変動適応における広域アクションプラン

（気候変動による自然環境・生物への影響に対する対応）

参考資料3 気候変動適応における広域アクションプラン

（気候変動下における持続可能な流域での水資源管理方法の検討）

参考資料4 分野横断的な脆弱性・リスクの抽出を行うための地方公共団体向けワークショップの手引き

<はじめに>

【開会挨拶：中部地方環境事務所 小森所長】

- ・ 元日に発生した能登半島地震において、主に石川県であるが、亡くなられた方へのご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災された方にお見舞い申し上げます。
- ・ 政府を挙げて支援を行っているが、環境省においても、トイレの問題、ごみの問題など努めて参った。今後、家屋の解体など災害廃棄物についても地元の皆様と進めて復旧・復興について、ご支援していきたい。
- ・ 今回の震災の経験から危機に入ってしまったから、対応するという事は困難であると感じた。将来的な危機として気候変動の問題がある。EUの研究機関の報告では、今年の1月の気温が高く、1年間の平均気温が産業革命前の1.5℃以上上昇しているというニュースも聞く。COP28の議論を踏まえて、パリ協定で議論した1.5℃目標の努力が重要であり、今後とも力を入れる必要がある。緩和、すなわち、気温上昇の抑制とともに、すでに暑い日が続き熱中症をはじめとする健康被害や大雨などの自然災害の増加などが起こっており、気候変動適応に関する取組を行う必要がある。
- ・ 今年は、昨年改正した気候変動適応法が施行するので、熱中症対策をしっかりと進めて参りたい。1,000人以上の熱中症死亡者数が出ている。対策として、これまでも熱中症警戒アラートを作り、毎年通知を出してきた。特に被災地である石川県の避難所でも注意をお願いしたい。能登半島で、高齢者の方を含めて健康をどのように守るのか、知恵を絞る必要があるのではないか。
- ・ 今回は本年度の事業と次年度の事業の方向性について、議論いただく。国や国立研究開発法人国立環境研究所、民間企業からの情報提供もある。
- ・ 各県の地域気候変動適応センターの役割が大きくなってくる。国の機関等と連携を進める、地元の県の各部署、市町村との連携、市民の方々との連携もある。民間との連携も幅広くやっていく必要がある。うれしいニュースとして、昨年福井県が気候変動適応センターを設置され、中部の全県でセンターが設置された。今後とも各センターのご尽力とセンター間の連携も進めて行ければと思う。
- ・ 後半にご紹介する取組は、先生方にご尽力いただき、3つの分科会において議論したりアクションを起こしていこうと実施している。この協議会を通じて皆さんに知恵と取組のノウハウを共有していければと思う。協議会を核として、みなさんの連携が図られ、適応対策の実施、推進を図って参りたいと思う。本日は、忌憚のないご意見を賜りたい。
- ・ 皆さんの気候変動適応策に取組の一助となればと思う。よろしくをお願いしたい。

【座長挨拶：福井先生】

- ・ 今年は能登半島地震で幕を開け、自然災害に対する対応が考えさせられる。気候変動による影響が待ったなしの状況となっており地域特性を考えるなら、適応策適応計画

を考える必要がある。本日は、最近の動向や本分科会の事業について報告いただく、活発な議論をお願いしたい。

#### 【副座長挨拶：杉山先生】

- ・ 日頃、様々な業務に対応されている皆様に敬意を表したい。名古屋大学で、世界気候エネルギー首長誓約というプロジェクトに関わり、世界中の事務局から報告を受けている。アジアやアフリカなどでも様々な取組がされており、気候変動のリスクの報告が増えている。
- ・ パリ協定において削減目標を 2050 年に引き上げようという議論が出ている。先のことを見ながら取組が必要である。
- ・ 本日は、様々な情報共有や取組の紹介がされるということで楽しみにしている。

## 2. 情報提供

### (1) 環境省気候変動適応室からの情報提供

環境省 気候変動適応室 秋山 様より「資料1 環境省気候変動適応室からの情報提供資料」について、ご紹介いただいた。

### (2) 国立研究開発法人国立環境研究所からの情報提供

国立研究開発法人国立環境研究所 浅野様より「資料2 国立研究開発法人国立環境研究所からの情報提供」について、ご紹介いただいた。

### (3) 環境省環境安全課からの情報提供

環境省環境安全課 横山様より「資料3 環境省環境安全課からの情報提供資料」について、ご紹介いただいた。

### (4) 大塚製薬株式会社からの情報提供

大塚製薬株式会社 伊藤様より「資料4 大塚製薬株式会社からの情報提供」について、ご紹介いただいた。

#### 【質疑応答】

香坂先生

- ・ 環境省秋山氏に質問がある。企業の実務連携、TCFD、TNFD など生物多様性と適応策の連携について、コベネフィットはどのあたりで進められているのかお聞きしたい。

環境省 秋山様

- ・ TCFD, TNFD との関連性については認識しており、TCFD については、金融庁、文科省、国交省、農水省、環境省の5省庁とシナリオ分析に関する関係者の懇談会を開催して

おり、データに関するニーズや推進していくための支援に関するニーズなどを伺っている。

- ・ 懇談会を6回程度実施し、昨年6月に課題を抽出し報告した。さらに6回実施し、来年6月頃を目途にとりまとめ、アクションを考えていきたい。
- ・ 物理的リスクといわれる気候変動影響の分析のデータベースが整理しきれていない。ポータルサイトをA-PLAT上に構築する準備をしているところ。また将来的にTNFDについても関係者と連携していきたい。

香坂先生

- ・ 理解した。上記取組の公開URLがあれば教えていただきたい。

環境省 秋山様 ※チャットコメント

- ・ 先ほどご紹介した懇談会は、下記のHPに順次、公開できる資料を掲載している。  
[https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page\\_00007.html](https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page_00007.html)

津市 環境政策課 ※チャットコメント

- ・ 環境省環境安全課様に、改正気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設についてお伺いしたい。
- ・ 管理運営を地元自治会に委託している施設や、指定管理者制度を導入している施設を指定暑熱避難施設に指定する場合、改正法に基づく協定を管理運営業務委託の相手方もしくは指定管理者と締結する必要はあるのか。

環境省 程様 ※下記チャットコメント

- ・ 市町村以外が設置する施設で指定管理者が指定されている施設の場合、管理の形態は自治体によって様々であると考えられるが、指定暑熱避難施設の指定に係る協定については、基本的には、施設の設置者と締結していただくことを想定している。
- ・ 指定暑熱避難施設として指定した場合には、設置者が指定管理者と結んでいる当該施設の指定管理に関する協定等の内容と、指定暑熱避難施設の指定に係る協定の内容に齟齬が生じないようにする必要がある。
- ・ 市町村が自ら設置する施設の場合、市町村の管理処分権限の及ぶ施設であるため指定管理者との間で改正適応法に基づく協定を必ずしも締結する必要はないと考えられるが、指定暑熱避難施設として指定した場合には、市町村と指定管理者との間で結んでいる指定管理に関する協定等の内容と、改正適応法に基づく対応に齟齬が生じないようにする必要がある。

議事4. 分科会等からの報告

中部地方環境事務所より「資料5 分科会等からの報告」について説明した。

## ●自然生態系への影響分科会

【座長・副座長コメント】

### 東京大学 香坂 様（座長・自然生態系への影響分科会）

- ・ 自立的にできるように、人とデータのネットワークが今後できると良い。既存の国立公園や高山植物の調査員などのネットワークを構築することや、専門家リストの定期的な更新が必要になる。
- ・ 市民モニタリング調査について、国立環境研究所が行っている調査等のレベルにどの程度近づけるかということがあると思うが、お互いのデータの比較ができるように定点観測ができればと思う。
- ・ 水谷先生にご尽力いただいているクマについては、関心の高いものとなったと思う。豊凶と気候変動の影響がわかると良いと思うので、今後も引き続き取組を進めていきたい。

### 九州大学 高取 様（副座長・自然生態系への影響分科会） ※コメント代読

- ・ 自然生態系への影響分科会では、広域的な連携の元、クマと堅果類の豊凶状況のデータ、市民参加型のセミのモニタリングのデータの蓄積や傾向分析を進めてきた。
- ・ 今日、全国的なクマによる人的被害の拡大が見られる中、このようなプラットフォームで、中部圏全体で連携し、広域的な影響を把握することは、今後の対策において、非常に重要と考えられる。
- ・ 野生生物の出没状況は、複雑な要因が絡んでいるが、そうした知見を蓄積する中で気候変動による影響を洗い出していくことが、適応策へとつながる一歩になる。
- ・ また、市民参加型モニタリングでも、参加いただいている自治体の皆様の多くのご協力を頂きながら、データが蓄積されてきている。次世代の子どもたちに気候変動への意識を身近な観点から持ってもらうという教育的な意味もあるが、是非その結果のフィードバックが、意識においても重要だと思う。その方法についても、メンバーの皆様、さらに新たな関係者の方々と継続し議論できたらと思う。

## ●流域圏での水資源管理分科会

【座長・副座長コメント】

### 岐阜大学 原田 様（座長・流域圏での水資源管理分科会）

- ・ ワークショップを実際に行ってみると、自分たちの地域にとって良い方向に向かうということから前を向いて一緒に議論できることが確かめられたのは非常に良かったと思う。
- ・ 昨年度までのアクションプランは、中部広域の議論で漠とした部分があったが、具体

的な地域を対象にし、地域の管理やガバナンスに関わっている方々と具体の議論を行うことで、地域における水資源の利用や気候変動に対するレジリエンスの高める方法について、具体性を持った議論として表面化し、アクションプランが実際のアクションに移行したように感じる。

- ・ この取組を地域や行政の仕組みに組み込むという話になるとハードルが急に高くなり、腰が引けてしまう。その一手手前の段階として、誰がどのような仕事をしているか、どのような水の動きをしているのかを地域ごとに把握することが、頭の体操として非常に重要である。来年度も引き続き、みなさんで頭の体操をしながら、今後政策や仕組みに落とし込むための一手手前の議論として活性化していけると良い。

### 名古屋大学 中村 様（副座長・流域圏での水資源管理分科会）

- ・ 今年度より、水資源分科会は具体的なアクションへと移行した。富山と木曾川流域で実施した二つのワークショップでは、組織や部署の垣根を超えて気候変動に関する危機に対応することの重要性が再認識された。気候変動しかり、社会の新たな課題は、既存の分野や部署を跨ったり、あるいはそれらの間にこぼれ落ちたりしがちである。
- ・ それらの課題に対応するためには、組織間での柔軟な連携がとても重要となる。相互理解を深め、課題を共有する、そのようなアクションが広がっていくことを期待している。

### 【質疑応答・意見交換】

#### 水谷先生

- ・ 全国でクマの出没が頻発し、社会問題化したため、クマの出没状況の可視化を各県の協力のもと実施した。このような特異なイベントが発生したとき、その状況を客観的に把握するためには、平常時から情報収集する体制がとられていることが重要になる。気候変動の影響は、長いスパンでの情報収集になるが、その過程でも時宜に応じた情報発信を行うことでモニタリングの意義を高めることができるのではないかと思う。今回、広域的なクマの出没状況に関する成果が得られたので、今後、各県の担当者に意見を伺いながら成果をまとめていきたい。

#### 福井先生

- ・ とてもタイムリーな結果が得られて、今後活かされて行ければと思います。
- ・ 流域圏での水資源管理分科会では、富山県さんに今回ご協力いただきましたが、富山県さんから感想とコメントをいただければと思う。

#### 富山県気候変動適応センター

- ・ 今まで、テリトリーの中でうまく完結できていた状況だったので、それぞれで責任を

持ってやって、うまく回っていた。昨今の気候変動の水害など、突発的な事象が起きた時に、部署をまたいだみなさんとの連携が必要だとひしひしと感じている。

- ・ 今回の勉強会ではどういう取組をしているのか、どういうことが繋がっているのかを実感する機会になった。分野を絞りながら、県外との連携も出来るよう、ご協力のほどお願いしたい。

#### 杉山先生

- ・ こういった機会でも横の連携がとれたり、自治体の連携や情報の蓄積は意義がある。自治体担当者の特徴として数年ごとに異動があるので、その部分で引継ぎが重要になる。引継ぎの工夫があれば教えていただきたい。

#### 富山県気候変動適応センター

- ・ 工夫というほどのことでもないが、所内で気候変動の専門家を中心に勉強会を実施しているが、A-PLATの研修資料が大変役に立っている。

#### 福井先生

- ・ ありがとうございます。年々、情報が充実し使いやすくなっている。積極的に活かしていただければと思う。多くの内容を短時間でご紹介いただいた。活発な議論ができたと思う。
- ・ 引き続き、広域適応協議会で分野、地域を横断して気候変動へ対応できるような場になればと思う。いただいた意見は事務局の参考にして、来年度の調査の参考にさせていただきます。

## 5. 閉会

#### 中部地方環境事務所 曾山課長

- ・ 官庁訪問に来た大学生が来た際に、地球温暖化対策については知っているが、気候変動適応は知られておらず残念であったので、認知度を高めることが必要である。
- ・ 原田先生からもあったが、施策の一手手前の議論が有用である。
- ・ 来年度も意見交換の場を予定しているので、構成員の皆様にはご活用いただきたい。熱中症は担当と調整しながら、セミナーの開催も予定している。来年度も引き続き事業を行っていくが、構成員の皆様にはご議論・ご検討いただきたいと思う。

(以上、議事終了)

## 出席者名簿

令和6年3月1日（金） 13:00～15:00

### ●発表者

所属	役職	氏名
地球環境局 総務課 気候変動適応室	室長補佐	秋山 奈々子
大臣官房環境保健部環境安全課		横山 智
国立環境研究所 気候変動適応センター	気候変動適応コーディネーター	浅野 絵美
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店	ソーシャルヘルス・リレーション担当 部長	伊藤 謙吾

### ●構成員

#### 座長

所属	役職	氏名
中部大学 中部高等学術研究所	所長・教授	福井 弘道

#### 副座長

所属	役職	氏名
東海学園大学／名古屋大学大学院環境学研究科	教授／特任教授	杉山 範子

#### 地方公共団体

所属	役職	氏名
富山県 生活環境文化部 環境政策課		(御欠席)
石川県 生活環境部 カーボンニュートラル推進課 (石川県気候変動適応センター)		(御欠席)
福井県 安全環境部 環境政策課 (福井県適応センター)		(御欠席)
長野県 環境部 環境政策課	技師	松沢 雄貴
岐阜県環境生活部脱炭素社会推進課	主事	石橋 采己
愛知県 環境局 地球温暖化対策課	課長補佐	岡田 由美
愛知県 環境局 地球温暖化対策課	技師	服部 達哉
三重県 環境生活部 環境共生局 地球温暖化対策課	主任	井上 貴一郎
名古屋市環境局脱炭素社会推進課脱炭素社会推進係	係長	北川 眞也
名古屋市環境局脱炭素社会推進課脱炭素社会推進係	主事	小池 菜摘
黒部市 市民福祉部 市民環境課	市民環境課長	吉田 雅之
立山町 企画政策課	課長	瀬本 紀子
立山町 企画政策課	主任	牧田 脩太郎
小松市 経済環境部 環境推進課		(御欠席)
珠洲市 自然共生室		(御欠席)
加賀市 産業振興部 環境課	課長	高橋 英樹
宝達志水町 環境安全課		(御欠席)
岐阜市 環境部 脱炭素社会推進課	係長	児島 泰輔

所属	役職	氏名
豊橋市 環境部 ゼロカーボンシティ推進課	主幹	大村 信人
岡崎市 ゼロカーボンシティ推進室	主任主査	船山 哲
豊川市 産業環境部		(御欠席)
刈谷市 環境推進課		(御欠席)
豊田市 環境部 環境政策課	担当長	愛川 遼
安城市 環境部環境都市推進課 カーボンニュートラル推進室	主事	狭間 世丈
知立市 市民部 環境課		(御欠席)
みよし市 環境経済部 企画政策課 ゼロカーボン推進室	主事	間瀬 佑介
長久手市 くらし文化部 環境課		(御欠席)
四日市市 環境部 環境政策課	主事	相原 史弥
富山県環境科学センター (富山県気候変動適応センター)	主任研究員	水田 圭一
長野県環境保全研究所 (信州気候変動適応センター)		(御欠席)
愛知県環境調査センター (愛知県気候変動適応センター)	主任	川上 七恵
愛知県環境調査センター (愛知県気候変動適応センター)	主任	山田 晃司
三重県気候変動適応センター	事務局長	樋口 俊実

#### 農林水産省

所属	役職	氏名
関東農政局 生産部 生産技術環境課		(御欠席)
北陸農政局 生産部 生産技術環境課	課長補佐	中村 英雄
東海農政局 生産部 生産技術環境課		(御欠席)
中部森林管理局 計画課	課長補佐	原田 直樹
近畿中国森林管理局 総務企画部 企画調整課	林政推進係長	西村 亮

#### 国土交通省

所属	役職	氏名
関東地方整備局 企画部 企画課	課長補佐	佐藤 勇二
関東地方整備局 企画部 企画課	担当	鈴木 彩絵
北陸地方整備局 企画部 企画課		(御欠席)
中部地方整備局 企画部企画課	係長	服部 大輔
近畿地方整備局 企画部 広域計画課	課長	大國 喜郎
近畿地方整備局 企画部 企画課	課長補佐	鈴木 圭
近畿地方整備局 企画部 広域計画課	幹線道路調査係長	小林 秀禎
近畿地方整備局 企画部 広域計画課	係員	女鹿田 哲也
北陸信越運輸局 交通政策部 環境・物流課	課長補佐	石田 亮太郎
中部運輸局 交通政策部 環境・物流課	環境・物流課長	鈴木 隆史

#### 気象庁

所属	役職	氏名
東京管区気象台気象防災部	気候変動・海洋情報調整官	風間 千尋
東京管区気象台気象防災部地域防災推進課	地球温暖化情報官	大森 正雄

## 環境省

所属	役職	氏名
中部地方環境事務所	所長	小森 繁
中部地方環境事務所 環境対策課	統括環境保全企画官	林 俊宏
中部地方環境事務所 環境対策課	課長	曾山 信雄
中部地方環境事務所 環境対策課	課長補佐	小倉 正恒
中部地方環境事務所 環境対策課	主査	滝藤 由貴

## ●アドバイザー・有識者

所属	役職	氏名
東京大学 大学院農学生命科学研究科	教授	香坂 玲
九州大学 芸術工学研究院	准教授	高取 千佳（御欠席）
岐阜大学 地域環境変動適応研究センター	准教授	原田 守啓（御欠席）
名古屋大学大学院 工学研究科	准教授	中村 晋一郎（御欠席）
信州大学 教育学部附属志賀自然教育研究施設	助教	水谷 瑞希

## 国立環境研究所

所属	役職	氏名
国立環境研究所 気候変動適応センター	気候変動適応コーディネーター	浅野 絵美
国立環境研究所 気候変動適応センター	気候変動適応専門員	川畑 隆常

## ●その他の関係者

### 地域地球温暖化防止活動推進センター

所属	役職	氏名
長野県地球温暖化防止活動推進センター	事務局長	中山 哲徳
岐阜県地球温暖化防止活動推進センター	事務局長	溝口 智子
愛知県地球温暖化防止活動推進センター	事務局次長	中尾 嘉文

### 地域事業受託事業者

所属	役職	氏名
株式会社地域計画建築研究所（アルパック）	役員	畑中 直樹
株式会社地域計画建築研究所（アルパック）	サステイナビリティマネジメントグループ チーム長	中川 貴美子
株式会社地域計画建築研究所（アルパック）	九州事務所／（株）よかネット 執行役員 主任研究員	櫻井 恵介

所属	役職	氏名
株式会社地域計画建築研究所（アルパック）	九州事務所／（株）よかネット 研究員	益戸 亮平

## 環境省

所属	役職	氏名
環境保健部 環境安全課	主査	程 藍
環境保健部 環境安全課	環境専門調査員	横山 智
地球環境局 総務課 気候変動適応室	室長補佐	秋山 奈々子

## ●傍聴（省庁・地方公共団体）

### 農林水産省

所属	役職	氏名
大臣官房みどりの食料システム戦略グループ地球環境対策室	連絡調整係長	田中 ゆり子

### 文部科学省

所属	役職	氏名
研究開発局 環境エネルギー課	専門職	小野 茉莉花
研究開発局 環境エネルギー課	調査員	下田 哲大

### 地方公共団体

所属	役職	氏名
長野県 健康福祉部 保健・疾病対策課	主任	脇本 春香
福井県 健康福祉部 健康医療局 保健予防課	主事	井上 幸代
岐阜県 保健医療課 健康推進室	健康増進係	旭 映美
愛知県 環境局 地球温暖化対策課	主事	村田 知予子
三重県 医療保健部 健康推進課	主事	安田 翔真
上市町 町民課	主任	土井 貴之
あわら市 生活環境課	主事	木戸 花穂
坂井市 生活環境部環境推進課	主任	山口 佳芳里
犬山市 経済環境部 環境課	統括主査	田崎 紘章
春日井市 環境部 環境政策課	主査	志津 明典
碧南市 経済環境部 環境課	係長	澤田 貴
大台町 健康ほけん課	特命監	上山 哲明
桑名市 保健福祉部 保健医療課	管理係長	服部 建徳
熊野市 環境対策課	主幹兼係長	溝口 成紀
菰野町 健康福祉課 主事	主事	伊藤 花梨
志摩市 健康福祉部 健康推進課	管理係長	谷川原 寛人
津市 環境政策課	担当主幹	林 邦知
津市 環境政策課	主事	松下 善信
津市 健康福祉部 健康づくり課	主事	隈元 健人
四日市市 健康福祉部 健康づくり課		横山 亜衣

## 事業者等

所属	役職	氏名
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店	ソーシャルヘルス・リレーション担当 部長	伊藤 謙吾
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部 京滋北陸支店	ソーシャルヘルス・リレーション担当 課長	前野 猛
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部 京滋北陸支店 福井出張所	所長	田村 正樹
大塚製薬株式会社 ソーシャルヘルス・リレーション部		奥山 元博
大塚製薬株式会社 津出張所	所長	繁沢 肖
大塚製薬株式会社 北関東支店 長野出張所	所長	永田 輝樹
大塚製薬株式会社 北関東支店 長野出張所	ソーシャルヘルス・リレーション担当	風間 千夏
大塚製薬株式会社 北関東支店 長野出張所		白上 剛史